

九大病院だよりは患者さん向けの広報誌です。ご自由にお持ち帰り下さい。

がんの治療に「緩和ケアチーム」が発足

—外来化学療法室の新しい取り組み—

新しいがん治療薬の開発や副作用対策の進歩により最近では多くのがん化学療法を外来で行うことができるようになりました。現在九州大学病院では、毎月のべ300名以上の方が外来化学療法室で化学療法を受けています。

一方、がんには、痛みなどのからだの症状や、不安、うつなどのこころの症状がかなりの頻度で伴います。がんの治療と並行してこれらの症状を和らげるための「緩和ケア」を積極的に行うことは患者さんの生活の質の維持に役立つだけでなく、より快適にがんの治療を継続することを可能にし、結果としてがんの治療効果そのものにも良い影響を与えることが示唆されています。

がんに伴う症状は患者さんごとに多様であり、からだの症状とこころの症状が混在していることも多く、症状緩和のために複数の診療科の協力を要することが多々あります。

九州大学病院では、外来化学療法室で化学療法を受けている患者さんの症状緩和を目的とした「緩和ケアチーム」を設立しました。心療内科、精神神経科、ペインクリニックのほか、内科系、外科系の様々な診療科の医師がメンバーとして参加しており、チーム内で連携して総合的な緩和ケアを効率よく提供することをめざします。受診は予約制で、現在受診している診療科の主治医から緩和ケアチームに紹介する形をとっています。緩和ケアチームの医師は外来化学療法室内に

設けられた診察室で診察を行います。まずは主治医や外来化学療法室のスタッフにご相談ください。また、外来化学療法室の看護師や薬剤師、地域医療連携センタースタッフもチームの一員として参加しており、治療に伴うさまざまなご相談に対して情報提供などのサポートを行います。さらに、将来的には入院中の患者さんへも対応できる体制を整えていく予定です。

緩和ケアチーム

外来化学療法室長 中西 洋一 TEL092-642-5125

九州大学病院



緩和ケアチーム



散髪屋さんのサイン

小児外科教授 田口 智章

MESSAGE from Tomoaki Taguchi



最近、モダンな散髪屋さんが増え、昔からおなじみの青と白と赤の3色の散髪屋さんのサインが少なくなりました。この3色の斜めの線が円筒形になりくるくる回るのが理髪店のサインでした。このサインにノスタルジアを感じるのは私だけでしょうか。ちなみに九大病院の理髪店にはこのサインが残っており、私はこのサインに惹かれて九大病院の理髪店を愛用しています。

このサインの起源はご存知の方も多いと思いますが、赤は動脈、青は静脈、白は包帯を意味しています。中世は理髪外科医なるものが存在し、理髪だけでなく、皮膚を切開してうみを出したり外傷の治療や血抜きをしていました。病気は血液が悪いのでこれを抜けば病気が治るという考えで血抜きをするわけです。腕の血管を切って赤い血や青い血が流れる様子がこのサインになったともいわれています。この当時、外科医はからだの表面の処置をする職人であったようです。

時は流れ、全身麻酔や消毒法の進歩で、内臓の病気の手術が可能になり、外科医も医者として認められるようになりました。私は小児外科を専門としていますが、生まれたばかりの赤ちゃんの内臓の手術が安全に行える時代です。小児外科の分野は飛躍的な発展をとげ、臓器切除および修復、臓器を置換する臓器移植、さらに臓器再生へと進化しているのです。

内科を再診される患者さんへ

平成19年1月4日(木)から「内科」の名称変更に伴い、「内科」の受付は、「臓器別診療科」の受付となります。これに伴い、「内科」を再診される場合は、右の画面により受付を行ってください。

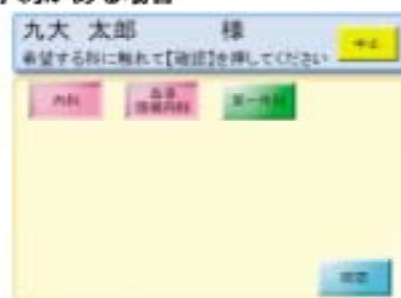
予約をされている患者さんは自動再来受付機に「内科」と「臓器別診療科」がピンク色で表示されていますので、確認ボタンを押していただければ受付が済むこととなります。予約をされていない患者さんは「内科」の確認ボタンを押してください。また、1月4日(木)から再来は予約制になります。次回来院の際、予約がある場合はピンク色で「臓器別診療科」が表示されますので、確認ボタンを押していただければ受付が済むこととなります。

※臓器別診療科名称

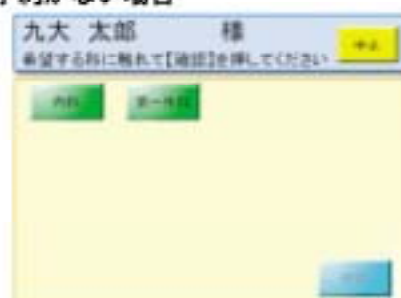
- ・血液・腫瘍内科
- ・免疫・膠原病・感染症内科
- ・消化管内科
- ・腎・高血圧・脳血管内科
- ・内分泌代謝・糖尿病内科
- ・肝臓・脾臓・胆道内科
- ・先端分子・細胞治療科
- ・総合診療部

★1月4日以降の最初の受診

(例) ★予約がある場合



★予約がない場合



(患者サービス課 TEL:092-642-5681)

「寒い季節は脳卒中にご用心!!」

脳卒中は夏とともに寒い冬にも多く発症し、特に重症脳梗塞と脳出血は冬に起こりやすいとされています。脳卒中の治療は時間との戦いで、発症後の対応が遅いと後遺症がより重篤になります。「少し休んで様子を見よう」などと考えずにただちに専門病院を受診することが重要です。脳卒中のなかでも7割を占める脳梗塞に対しては、2005年10月から発症3時間以内に治療を開始すると著しい有効性が認められる特效薬「血栓溶解薬t-PA」が我が国でも使用可能になり、当院でも同薬を含めた総合的治療を行います。

日本人は欧米人に比べて脳卒中の発症頻度が高く、高血圧症・糖尿病・高脂血症・心房細動などの危険因子を有している方に発症しやすいので、これらの病気の治療を厳格に行って脳卒中の発症予防に努めて下さい。また、右のような症状や意識障害、激しい頭痛などが出現した場合には脳卒中が疑われますので、ただちに当院または脳卒中専門病院を救急受診して下さい。

腎・高血圧・脳血管内科外来092-642-5300

アドレス www.med.kyushu-u.ac.jp/stroke/



診療科の紹介

今回は、耳鼻咽喉科・頭頸部外科をご紹介します。



耳鼻咽喉科・頭頸部外科が担当する領域には聴覚、嗅覚、味覚、平衡覚といった感覚や、言語、摂食、発声、嚥下などの生命の維持とコミュニケーションに重要な機能が含まれます。さらに頭頸部領域の腫瘍に対する治療を行います。当科はこれらの感覚や機能の障害を治療し患者さんのQOL(生活の質)の向上を目指しています。特に力をいれている分野として、人工内耳埋め込み手術による高度感音難聴の治療、各種聴力改善手術、聴神経腫瘍摘出、音声機能障害、難治性誤嚥に対する治療、臓器温存を目指した頭頸部癌の集学的治療、および顔面神経麻痺、小耳症など頭頸部領域の形成手術などがあります。

(耳鼻咽喉科・頭頸部外科 科長 小宗 静男 TEL:092-642-5681)

外来案内ボランティア活動

病院には、専門職でなくてもできる仕事がたくさんあります。その中の1つにボランティアがあります。

現在九大病院では、3ヶ所でボランティア活動をしております。

(1) 愛の図書室：ここは入院・外来患者さんへの本の貸出、また目の不自由な方へのテープの貸出を行っております。

(約20年の歴史)

(2) 小児医療センター：ここは3つのグループに分れて活動しております。本のよみきかせ「へんへん」、西南女学院生によるグループ活動、元入院患者さんの母親の方々の活動(ゆめりんご)等です。

(3) 外来ボランティア：患者さんの受診時の介助(受付、診療科、車椅子の介助、検査室等への御案内)があります。

以上の各グループがそれぞれの所で病院の働きをよく理解した上できめ細かなサービスを提供し病院との架橋の役割を担っております。ボランティアは他人



の立場をよく理解し、幅広い人間に成長しつつ医療サービスをしなくてはなりません。それには自分自身が心身共に健康でなければ活動できません。常に職員と連絡を密にとり合って活動し、何事も職員によく聞いて動いております。

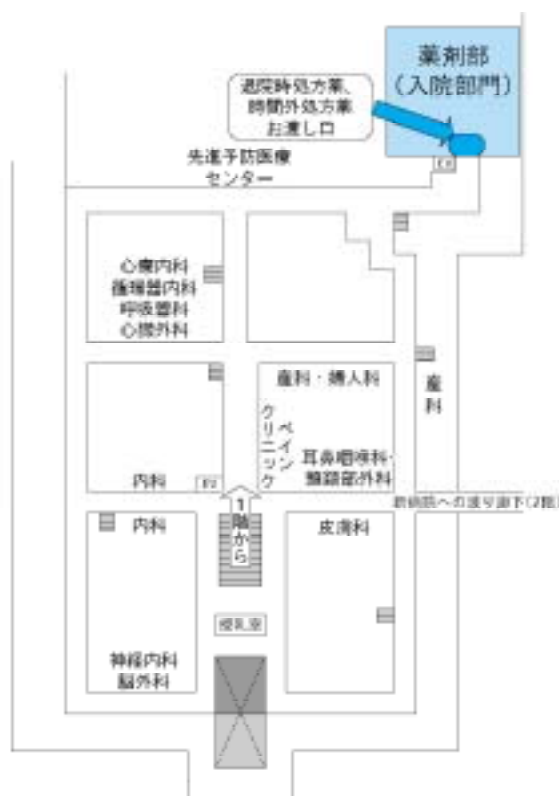
ボランティアは無理をしないで細く長く継続することに意義があり、また成果もあらわれてくるものです。どうぞボランティアに賛同される方は私共と一緒に活動されませんか。

ボランティアコーディネーター 濱村 妙子

退院、時間外、休日のお薬お渡し窓口が変わりました

薬剤部(入院部門)が、東病棟2階から外来診療棟2階に移転しました。

これにより入院患者さんの退院時処方と外来患者さんの時間外・休日の処方のお薬および一部の自己注射用注射薬のお渡し窓口が変わりましたので、お知らせします。



別府先進医療センター 慢性疾患診療部のご紹介

別府先進医療センター慢性疾患診療部を紹介します。ご存じの様に大分県別府市は八つの温泉場を周囲に有する温泉町であります。医療センターはその温泉地のほぼ中央にあり、東に別府湾、西に由布・鶴見山系と自然環境に大変恵まれています。敷地内では森林浴もできる遊歩道も整備され、無数の桜木が病院周囲を飾ります。恵まれた環境の中で温泉リハビリテーションを提供するのが慢性疾患診療部です。関節リウマチ、膠原病、パーキンソン病、脊髄小脳変性症など慢性疾患の診療に取り組んでいます。今年6月から、リハビリテーションを目的とする療養病床が開設されました。治療内容は、温泉運動プール(写真)、温泉泥浴や堀田温泉浴による温泉療養(湯治)、温熱・寒冷・電気・光線・セラピストの手技などによる各種療法、難病高齢者のリハビリフィットネス、日常生活指導、介護軽減を目的としたリハビリテーションなどです。様々な患者さんのニーズにあった自立生活支援のためのサービスを提供いたします。入院リハビリを受けたい方は、療養病床に入院されますと長期的なりハビリを受けられますので是非ご利用ください。



お問い合わせ：電話 0977-27-2055 (藤原、鶴岡、高山)

九州大学病院口腔画像診断科

口腔画像診断科は歯、口の中、あごの骨、顔面と頸（くび）の病気に対する画像検査・診断を総合的に行っています。検査の種類は一般X線撮影、CT検査、超音波検査、内視鏡検査、唾液腺造影検査、嚥下機能造影検査、顎関節造影検査など多岐に渡っています。それらの検査を実施し、画像診断報告書を作成しています。

さて、もう一つの重要な診療内容として、当科独自の低侵襲治療も行っています。画像検査手技を応用し、唾液腺内視鏡を使った唾石破砕術を行っています。従来は手術が必要だった唾石のうち一部では手術しないで摘出できます。また閉塞性唾液腺炎に対するバルーン拡張療法も行っています。これらは国内では他に行われておらず、学内の倫理委員会の承認を得て臨床研究として患者さんの治療に適用しています。また、顎関節疾患に対して関節腔洗浄療法や顎関節鏡視下処置も行っています。さらに放射線治療部と共同で顔面や頸の腫瘍に対する放射線治療を行い、放射線治療を受けた患者さんの口の中の健康管理を専門的な立場で行っています。これらの治療の特徴は患者さんにやさしい治療です。

このように診断と治療の両面から当科独自の高度な診療を行っています。手術をせずに内視鏡で観察しながら唾石を摘出します。

口腔画像診断科 科長 吉浦 一紀 TEL092-642-6471

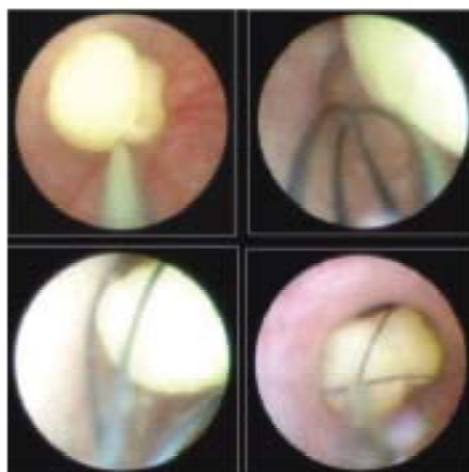


図 内視鏡下に摘出している唾石

お知らせ

- ◎平成19年1月4日より再診は原則として予約診療になります。（但し、脳神経外科を除く）
- ◎九大病院建物内は全面禁煙となっています。皆様のご協力をお願いします。禁煙のご相談は総合診療部禁煙外来（TEL：092-642-5910）まで

看護師募集

看護師を随時募集しています。私達と一緒に働きませんか？お問い合わせは092-642-5024（総務課人事係）まで。

外来診療日一覧

お尋ねは、下記の診療科等に直接お電話願います。午前中は大変込み合い、電話がかかりにくい場合があります。予めご了承下さい。（市外局番は「092」です）

科名(診療科目)	初診日	再診日	科名(診療科目)	初診日	再診日	科名(診療科目)	初診日	再診日
内科(初診) (642-5300)	/	/	先端理工学部 (642-5993)	月~金	月~金	志部 4 口腔画像診断科 (642-6471)	月~金	月~金
内科(再診) (642-5302)	/	/	第一外科 (642-5453)	火・木・金	月~金	4 口腔総合診療科 (642-6490)	月~金	月~金
立派・腫瘍内科			第二外科 (642-5479)	月・水・金	月~金	5 全身管理歯科 (642-6483)	月~金	月~金
免疫・膠原病・ 感染症内科			整形外科 (642-5504)	日・水・金	月~金	4 小児歯科 (642-6465)	月~金	月~金
消化管内科			脳神経外科 (642-5533)	月・水・金	月・水・金	4 矯正歯科 (642-6460)	月~金	月~金
1 腎・高血圧・ 2 脳血管内科			2 心臓外科 (642-5565)	日・水・金	月~金	4 歯周病科 (642-6425)	月~金	月~金
1 内分泌代謝・ 2 糖尿病内科	月~金	月~金	北 5 小児外科 (642-5578)	月・水・金	月~金	4 歯内治療科 (642-6430)	月~金	月~金
1 肝臓・膵臓・ 2 胆道内科			2 皮膚科 (642-5596)	月・水・金	月~金	4 咬合補綴科 (642-6435)	月~金	月~金
先端分子・ 細胞治療科			2 泌尿器科 (642-5615)	月~金	月~金	4 義歯補綴科 (642-6440)	月~金	月~金
総合診療部 (642-5300)			1 精神科神経科 (642-5640)	月~金	月~金	5 顎顔面口腔外科 (642-6445)	月~金	月~金
1 臨床遺伝医療部 (642-5421)	月~金	月~金	1 眼科 (642-5660)	月~金	月~金	5 歯科麻酔科 (642-6479)	月・水・金	月~金
2 心療内科 (642-5335)	月・水	月~金	2 耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科 (642-5681)	月~金	月~金			
2 神経内科 (642-5349)	月~金	月~金	1 放射線科 (642-5705)	月・水・金	月~金			
2 循環器内科 (642-5371)	月~木	月~金	2 麻酔科蘇生科 (642-5719)	月・水・金	月~金			
2 呼吸器科 (642-5388)	月・水・金	月~金						
2 産婦人科 (642-5409)	火・木	月~金						
2 産婦人科センター (産科) (642-5900)	火・木	月~金						
北 5 小児科 (642-5430)	月~金	月~金						

※○印の曜日は予約が必要です。

●休診日
土曜日、日曜日、祝日、
年末年始(12/29~1/3)

●受付時間(窓口)
8:30~11:00
自動再未受付機
8:15~11:00

●外来玄関開閉時間
7:00~18:00

歯科部門

●受付時間
初診 8:30~11:00
再診 8:30~15:00
(矯正歯科は、
8:30~16:00)

●予約がある場合はこの
限りではありません。

●再来の方でも、1年以上
受診されていない場合
には、初診の曜日・
時間となることがあり
ますので、あらかじめ
受診科「外来」にお確
かめ願います。

病院にお越しの際は保険証をお忘れなく！

※保険証の提示がない場合には、保険の取扱いができません。

(代表) 092-641-1151

〒812-8582
福岡市東区馬出3丁目1番1号

携帯電話からも九大病院ホームページの
診療案内・診療日案内・交通案内が閲覧できます。
アドレスは<http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>です。

※外来患者さん用の駐車場を準備していますが、駐車台数が
限られていますので出来るだけ公共の交通機関をご利用い
たいただきますようご協力願います。

ご意見・ご感想を電子メール(ibskoho@jimu.kyushu-u.ac.jp)
または外来棟玄関の「ご意見箱」にどしどしお寄せください。お待ちしております！